

# 理系学部・情報系学部の新設、 定員増計画 めじろおし！

国の支援事業が後押し。公私立大で新たに5千人近い入学定員

旺文社 教育情報センター 2024年2月9日

大学の理系学部新設の動きが活発だ。不足が指摘されている理系人材、高度情報専門人材の育成を目的として国が立ち上げた「大学・高専機能強化支援事業」が後押ししている。

## ■大学・高専機能強化支援事業——2つの支援で理系人材、デジタル人材の育成を推進

### 大学・高専機能強化支援事業

※教育未来創造会議、大学・高専機能強化支援事業資料より

**支援1** 学部再編等による理系学部(特定成長分野に関連)新設、定員増への支援

**支援2** 高度情報専門人材確保に向けた機能強化への支援

### 支援事業実施の主な背景

◎理工系の学生割合の低さ、デジタル・グリーン等の成長分野の人材不足への指摘。

- ・理系(自然科学分野)の学部学生の割合 ⇒ 35%(※1)。
- ・理工系学部への入学者割合 ⇒ 17%[OECD 平均27%](※2)。
- ・女子学部入学者に占める理工系の割合 ⇒ 7%[OECD 平均15%](※2)。
- ・学部学生全体に占める理工系の割合 ⇒ 男子28%、女子7%(※3)。
- ・世界デジタル競争力ランキング ⇒ 2021年28位(2022年29位、2023年32位)(※4)。
- ・2030年、先端 IT 人材54.5万人不足(※5)。
- ・脱炭素の世界的な動きのなかで、人材ニーズの高まり。

(※1)イギリス45%、韓国42%、ドイツ42%、アメリカ38%、フランス31%。文科省「諸外国の教育統計」(令和3年版)。「理・工・農・医・歯・薬・保健」。「その他」区分のうちこれらの学際的なものは推計。経年で見ると諸外国は割合増加、日本は近年変化なし。

(※2)2019年。OECD.stat「New entrants by field」。(※3)2021年。文科省「学校基本調査」。

(※4)国際経営開発研究所(IMD)「World Digital Competitiveness Ranking」。

(※5)経産省委託調査(「IT 人材需給に関する調査」みずほ情報総研/2019年3月)。

大学・高専機能強化支援事業は、上の囲みに示した理工系の学生割合の低さ、デジタルやグリーン等の成長分野での人材不足を踏まえ、大学での関連する研究科や学部の新設、定員増などの機能強化を助成金で後押しするものだ。

教育未来創造会議 第一次提言、経済財政運営と改革の基本方針2022などの政府方針で、理系の学部学生の割合を35%から5割程度に、女子学部学生の理工系割合7%を男子28%と同程度に高めることなどが示され、2022年度第2次補正予算による3,002億円で事業がスタート。初回公募は2023年4~5月、選定校概要が7月に文科省より、取り組み内容が8月に大学改革支援・学位授与機構(事業実施団体)より公表された。事業は2つの支援で構成される。

## ■大学・高専機能強化支援事業の概要

### 支援1「学部再編等による理系学部(特定成長分野に関連)新設、定員増への支援」の概要

- ◇国の方針(「科学技術・イノベーション基本計画」など)が掲げるデジタル・グリーンを中心とした成長分野に関連する学部・学科の新設(転換)、定員増を支援。
- ◇学位分野は、理学・工学・農学のいずれか、またはいずれかを含む融合分野。
- ◇デジタル・グリーンに限らない。「科学技術・イノベーション基本計画」では、AI、バイオテクノロジー、量子技術、マテリアル、宇宙、海洋、環境エネルギー、食糧・農林水産業などが示されている。
- ◇各大学は、地域や産業界のニーズを踏まえて、取り組みが成長分野の牽引に資することを明確にする必要。

**対象** 公私立大学

**助成期間、助成金額** 原則8年以内

- ・フェーズ1(3年以内[1年延長2回まで可]／助成金額:上限3,000万円)＝構想、調査、教育内容の検討など
- ・フェーズ2(1年程度／助成金額:上限20億円程度)＝認可申請、届出から、新設などまで(施設設備の整備)
- ・フェーズ3(4年／助成金額:上限4,000万円)＝新設や定員増から、完成年度が終わるまで

**受付期間** 2032年度まで **選定予定件数** 250件程度(申請状況などにより予算内で調整されることも)

### 支援2「高度情報専門人材確保に向けた機能強化への支援」の概要

- ◇情報系分野を修め、社会で活躍する高度専門人材を育成する取り組み(大学院の研究科新設、定員増など)を支援。
- ◇学位分野は、理学・工学・農学のいずれか、またはいずれかを含む融合分野(高専は工学)。

**対象** 国公私立大学、高等専門学校

**取り組み枠の概要** 大学(一般枠／特例枠／ハイレベル枠)。 ※いずれも大学院での取り組みが必須

- ◎一般枠:既設の情報系分野の大学院で研究科新設、定員増など。あわせて学部強化に取り組む場合も
- ◎特例枠:情報系分野の学部・学科がある大学が、大学院の研究科を新設など。あわせて学部強化に取り組む場合も
- ◎ハイレベル枠:極めて高い効果が見込まれる計画。一般枠の内容に加え「海外トップ大学との連携などで世界トップレベル人材輩出」「定員大幅拡充、優れた教育プログラム横展開」「企業などの具体的課題の解決に取り組むことで継続的に人材多数輩出」のいずれか1つ以上を含む計画。大学教員等養成の取り組みも必要。一般枠で選定される場合も

**助成期間** 最長10年

**助成金額** 上限:一般枠10億円／特例枠4億円／ハイレベル枠10億円(一般枠に加算)／高専10億円

**受付期間** 原則2025年度まで **選定予定件数** 60件程度(特例枠で数件、ハイレベル枠で5件程度を含む)

### [支援1・2]申請資格・要件、確認項目の概要

**主な申請資格** 以下に該当していない大学が申請可。

- ・募集停止の大学／・直近の認証評価が「不適合」の大学
- ・「私大等経常費補助金」が、定員充足状況の基準以外の理由で、前年度に不交付または減額の大学 など

**主な申請要件、確認項目**

- ・財務状況・収容定員充足率が適正と確認された大学／・実務経験のある教員による授業科目を配置する計画
- ・産業界を含む社会ニーズなどを踏まえた体系的な教育カリキュラム、適切な入試実施の計画
- ・入学定員増加基準を満たす計画。[支援1]20人以上。[支援2]修士15人以上または博士5人以上。高専20人以上
- ・国際卓越研究大学の認定、支援を受けていないこと
- ・多様な入学者(女子、社会人、留学生など)の確保に向けた取り組み
- ・[支援1]新設の場合、複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画
- ・[支援1]寄附金・研究費等の外部資金の獲得の基準を満たす計画
- ・[支援2]学部の定員増によって大学の収容定員が増える国立大学は、2033年度までに同規模の定員減 など

■大学・高専機能強化支援事業  
初回公募(2023年)  
選定結果

	申請	選定	選定校の内訳			
			国立大学	公立大学	私立大学	高専
支援1	67	67	-	13	54	-
支援2	57	51	37	4	5	5

支援1の内容	大学	学部	学科	既存組織
新設	1	30	8	-
新設(学位分野 変更なし)	-	16	21	-
定員増	-	-	-	5

※大学改革支援・学位授与機構資料より作成。

※上段と下段の表組みの単位:校。

※下段の表組みの( )は支援1・2ともに申請・選定で、内数。

※1校当たりの取り組みが複数あるケースがある。

支援2の区分	申請	選定	選定校の内訳			
			国立大学	公立大学	私立大学	高専
一般枠	34(7)	36(4)	30	3(2)	3(2)	-
特例枠	4(4)	3(3)	0	1(1)	2(2)	-
ハイレベル枠	14	7	7	0	0	-
高専	5	5	-	-	-	5

■初回公募結果の概要——支援1、工学分野を中心に、公私立大で新たに5千人近い入学定員。理系学部を初めて設置する大学も。第2回公募も進行中

支援1では、2027年までに、特定成長分野関連の入学定員が約1.1万人になる選定結果となった(編入学定員、通信課程含む)。再編や改組での転換による定員がおおよそ5千人。加えて、新たに5千人近く入学定員が増える(首都圏1都3県の大学で5割、関西圏の大学で3割を占める)。

支援2では、学部での取り組みを26校(国立大25校、私立大1校)が計画。2030年までに、情報系の新設や定員増で入学定員が1.1千人ほど増え、入学定員規模は約5.2千人となる。

本事業では、学位分野に理学・工学・農学のいずれかを含む必要がある。選定された計画の学位分野を見ると、支援1・2ともに工学を含むケースが他を引き離して多く、理学が続く。融合分野の組み合わせとなる分野は、支援1では経済学が多く、他には社会学・社会福祉学、家政、文学、保健衛生学、教育学・保育学、音楽がある。支援2(学部)では融合分野はわずかだが、経済学、社会学・社会福祉学、家政が示されている。

支援1で、理学・工学・農学のいずれかを初めて授与する大学は39校を数え、なかには女子大7校(選定時点。2024年、桜花学園大は共学化)、音楽大1校が見られる(「大学新設:私立大1」「学部新設:公立大6、私立大24」「学科新設:公立大1、私立大7」)。

なお、実際の新設、既存組織の定員増に際しては「認可申請」や「届出」などの手続きが別途行われる。第2回目の公募は昨年12月に開始しており、結果公表は6月以降の見通し。

現在、国は、理系人材の増加、情報系人材の育成について、本事業の他にも、東京23区での定員規制の緩和(※)、私立の理学・工学・農学系進学者も対象とする高等教育の修学支援新制度の拡充(※)、大学入試での女子枠促進(※)などの取り組みを行っている。

一方、2023年度の私立大では入学定員割れの大学が半数を超え、私大全体で入学定員未充足状態となった(充足率99.59%/日本私学振興・共済事業団)。また、昨年9月には、急速な少子化を踏まえて、大学の適正規模、地域におけるアクセス確保のあり方などについて中教審に諮問がなされ、議論が始まっている。理系強化の旗印のもと、受け皿が今後広がるのだろうか、受験生の動向はどうか。増える理系学部への志願動向、入学状況が注目される。

(2024.1 加納)

※参考:国による各取り組みに関する弊社記事

◎23区規制の現在位置(2023年8月28日)

◎2024年度、修学支援新制度が拡充(2023年7月10日)

◎大学入試の女子枠 2024年入試で増加!(2023年12月1日)

■ [支援1]学部再編等による理系学部(特定成長分野に関連)新設、定員増への支援  
初回公募(2023年)選定校

※各大学の事業概要資料、大学ホームページ、文科省資料より作成。 ※選定校の実際の新設、定員増に際しては別途、国に対して手続きが必要。  
※学部・学科などの名称(仮称含む)、計画は選定時点での予定。今後の変更があり得る(一部、選定時から変更された大学あり)。  
※学部・学科等の所在地、設置予定地が本部所在地と異なる場合がある。 ※備考に【既存組織の定員増】と記していないところは新設や改組。  
※入学定員に編入学定員を含む。 ※女子枠=事業概要資料に言及がある場合に「◎」(一部、大学の募集要項参照)。

2024年の計画

本部所在地	大学	学部	学科	入学定員 (改組・新設、定員増 など取り組み後)	女子枠 (実施、検討、 予定)	備考
公立大学						
富山	富山県立大学	情報工	データサイエンス	40		
			情報システム工	60		工学部から再編。
			知能ロボット工	60		工学部から再編。
山口	山陽小野田市立 山口東京理科大学	工	医薬工	60	◎	
山口	下関市立大学	データサイエンス	データサイエンス	80		
山口	周南公立大学	情報科学	情報科学	100		
高知	高知工科大学	データ&イノベーション		60	◎	
私立大学						
千葉	千葉工業大学	情報変革科学	情報工	120		情報科学部を改組。
			認知情報科学	120		
			高度応用情報科学	120		
千葉	麗澤大学	工	工	100		
東京	日本女子大学	建築デザイン	建築デザイン	100	—	
東京	明治学院大学	情報数理	情報数理	80		
神奈川	神奈川工科大学	工	応用化学生物	145	◎	
石川	金沢学院大学	情報工	情報工	100	◎	
愛知	椋山女学園大学	情報社会	情報デザイン	102	—	
大阪	大阪電気通信大学	建築・デザイン	建築・デザイン	150		
岡山	ノートルダム清心女子大学	情報デザイン	情報デザイン	90	—	
福岡	福岡工業大学	情報工	情報マネジメント	90		
東京	東京通信大学	情報マネジメント	情報マネジメント	1150		【既存組織の定員増】 通信制大学。

2025年の計画

本部所在地	大学	学部	学科	入学定員 (改組・新設、定員増 など取り組み後)	女子枠 (実施、検討、 予定)	備考	
公立大学							
福井	福井県立大学	恐竜	恐竜・地質	30			
			生物資源	生物資源	50		
				創造農	30		
山口	山口県立大学	国際文化	情報社会	40			

2025年の計画(続き)

本部所在地	大学	学部	学科	入学定員 (改組・新設、定員増 など取り組み後)	女子枠 (実施、検討、 予定)	備考
私立大学						
北海道	北海道科学大学	情報科学	情報科学	100		
埼玉	城西大学	理	情報数理	60		
千葉	敬愛大学	国際	情報・データサイエンス	50		
東京	大妻女子大学	データサイエンス	データサイエンス	90	—	
東京	東京医療保健大学	医療保健	健康デジタル	80		医療情報学科を改組。
神奈川	北里大学	獣医	グリーン環境創成	100		
愛知	日本福祉大学	工		100		
大阪	追手門学院大学	理工	数理・データサイエンス	30		
			機械工	50		
			電気・電子工	50		
			情報工	70		
大阪	関西大学	ビジネスデータサイエンス	ビジネスデータサイエンス	350		
		システム理工	グリーンエレクトロニクス工	60		
兵庫	関西国際大学	情報	情報	100		
兵庫	武庫川女子大学	環境共生	環境共生	120	—	
広島	広島工業大学	工	電子情報工	110		
			電気システム工	110		
			機械情報工	120		
		情報	情報システム	70		
			情報マネジメント	70		
		環境	地球環境	100		
食健康科学	90					
広島	安田女子大学	理工	生物科学	60	—	
			情報科学	60	—	
			建築	60	—	
愛媛	松山大学	情報	情報	120		
福岡	博多大学	データサイエンス	データサイエンス	160		大学新設。

2026年の計画

本部所在地	大学	学部	学科	入学定員 (改組・新設、定員増 など取り組み後)	女子枠 (実施、検討、 予定)	備考
公立大学						
北海道	旭川市立大学	地域創造		100		
長野	長野大学	環境・情報科学		90		

2026年の計画(続き)

本部所在地	大学	学部	学科	入学定員 (改組・新設、定員増 など取り組み後)	女子枠 (実施、検討、 予定)	備考
私立大学						
青森	青森大学	ソフトウェア情報	ソフトウェア情報	90		【既存組織の定員増】
群馬	共愛学園前橋国際大学	デジタル・グリーン	デジタル・グリーン	100		
東京	青山学院大学	統計・データサイエンス	統計・データサイエンス	60	◎	
東京	駒澤大学	グローバル・メディア・ スタディーズ	メディアエ	50		
東京	芝浦工業大学	システム理工		705	◎	【既存組織の定員増】 課程制に改組・定員増。
東京	順天堂大学	食農	農業技術、食品科学、 食農マネジメント	200	※	千葉県市原市にキャンパス 新設。※女子枠＝女子 校に指定校推薦枠。
東京	立教大学	環境		204		
愛知	桜花学園大学	情報科学	教育データサイエンス	80		
京都	京都橋大学	工	デジタルメディア	100		
			デジタルメディア [通信教育課程]	360		
			ロボティクス	100		
大阪	桃山学院大学	工	地域連携DX	160		
兵庫	甲南大学	理工	環境・エネルギー工	40		
福岡	久留米工業大学	工	情報ネットワーク工	110		【既存組織の定員増】
宮崎	宮崎産業経営大学	経営	経営情報	40		

2027年の計画

本部所在地	大学	学部	学科	入学定員 (改組・新設、定員増 など取り組み後)	女子枠 (実施、検討、 予定)	備考
公立大学						
神奈川	横浜市立大学	新データサイエンス		120		
愛知	名古屋市立大学	理	理	90		【既存組織の定員増】 総合生命理学部(総合生 命理学科)を改称。
広島	福山市立大学	情報工	情報工	50		
福岡	北九州市立大学	情報イノベーション	情報エンジニアリング	68		
			共創社会システム	50		
私立大学						
青森	八戸工業大学	工	グリーン科学技術	100		現在の2学部体制の再構 築も検討。
			社会創造	100		
			情報デザイン	100		
福島	東日本国際大学	デジタル創造	デジタル創造	80		
埼玉	東都大学	農	農業生産	100		
千葉	神田外語大学	国際経営データサイエンス		135	◎	神田キャンパス新設。

2027年の計画(続き)

本部所在地	大学	学部	学科	入学定員 (改組・新設、定員増 など取り組み後)	女子枠 (実施、検討、 予定)	備考
私立大学						
東京	中央大学	健康スポーツ科学	健康スポーツ科学	300	◎	
		農業情報	農業生産科学、 生産環境工、食料ビジネス	300	◎	
東京	東京都市大学	デジタル理工	デジタル理工	200	◎	
東京	東洋大学	環境イノベーション	環境イノベーション	140		
神奈川	昭和音楽大学	芸術工	芸術工	100		
三重	四日市大学	環境情報工		100	◎	
京都	京都光華女子大学	健康科学	食品生命科学	40	—	
京都	京都女子大学	食農科学		160	—	
大阪	大阪経済法科大学	情報	情報	100	◎	
広島	広島修道大学	農		160		
佐賀	西九州大学	健康データサイエンス	健康データサイエンス	100		
宮崎	南九州大学	健康栄養	地域・医療・食品・ 健康・データサイエンス	50		

※多数の項目で「特筆すべき内容がある」と評価された大学

福井県立大学、山陽小野田市立山口東京理科大学、東日本国際大学、共愛学園前橋国際大学、芝浦工業大学、京都光華女子大学、松山大学

■ [支援2] 高度情報専門人材確保に向けた機能強化への支援 初回公募(2023年)選定校

※各大学の事業概要資料、大学ホームページ、文科省資料より作成。 ※選定校の実際の新設、定員増に際しては別途、国に対して手続きが必要。

※学部・学科などの名称(仮称含む)、計画は選定時点での予定。今後の変更があり得る。

※数次の取り組みのある場合、入学定員に示したのは最終的な定員。 ※研究科等の所在地、設置予定地が本部所在地と異なる場合がある。

※学部入学定員に編入学定員を含む。 ※女子枠＝事業概要資料に言及がある場合に「◎」(一部、大学の募集要項参照)。

本部所在地	大学	区分	実施年	取り組み (改組＝新設、 増設を含む)	改組、定員増の 学部 (改組＝新設、 増設を含む) (大学院、高専は割愛)	改組、定員増の 学科(専攻、コース等) (改組＝新設、 増設を含む) (大学院、高専は割愛)	【情報系】 入学定員 (取り組み後)	【情報系】 入学定員 増減 (取り組み前 との比較)	女子枠 (実施、 検討、予定)
国立大学									
北海道	北海道大学	博士	2030年	定員増			48	5	
		修士	2028年	定員増			229	33	
		学部	2024年	定員増	工	情報エレクトロニクス	230	50	
北海道	室蘭工業大学	修士	2024年	定員増			82	15	
宮城	東北大学	博士	2026年	定員増			79	6	
		修士	2024年	定員増			316	60	
		学部	2024年	定員増	工	機械知能・航空工	247	13	
						電気情報物理工	263	20	
					建築・社会環境工	114	7		
秋田	秋田大学	修士	2029年	改組			35	23	
		学部	2025年	改組	情報系学部	情報系学科	100	100	
募集停止	理工			数理・電気電子情報 (人間情報工学コース)	—	-32			

本部所在地	大学	区分	実施年	取り組み (改組=新設、増設を含む)	改組、定員増の学部 (改組=新設、増設を含む) (大学院、高専は割愛)	改組、定員増の学科(専攻、コース等) (改組=新設、増設を含む) (大学院、高専は割愛)	【情報系】 入学定員 (取り組み後)	【情報系】 入学定員 増減 (取り組み前との比較)	女子枠 (実施、 検討、予定)
国立大学									
福島	福島大学	修士	2027年	改組			40	20	
		学部	2025年	改組	理工(※1)	共生システム理工 (情報理工学コース)	75	75	
						共生システム理工 (メカトロニクスコース)	45	45	
				募集停止	理工(※1)	共生システム理工 (数理・情報科学コース)	-	-25	
						共生システム理工 (経営システムコース)	-	-25	
共生システム理工 (物理・システム工学コース)	-	-30							
茨城	茨城大学	博士	2026年	定員増			10	2	
		修士	2024年	定員増			70	40	
		学部	2025年	定員増	工	情報工	90	10	
茨城	筑波大学	博士	2026年	定員増			69	16	
		修士	2024年	定員増			360	90	
		学部	2025年	定員増	理工	工学システム	143	13	
						情報	情報科学	100	10
情報メディア創成	68	8							
栃木	宇都宮大学	修士	2026年 2028年	改組 定員増			99	17	
		学部	2024年	改組 定員減	データサイエンス経営 工		58 316	58 -25	
群馬	群馬大学	修士	2024年	改組			60	21	
千葉	千葉大学	博士	2024年	改組			10	6	
		学部	2024年	改組	情報・データサイエンス	情報・データサイエンス	100	100	
募集停止	工			総合工(情報工学コース)	-	-79			
東京	電気通信大学	博士	2025年 2026年 2030年	定員増			22	10	
		修士	2024年 2028年	定員増			155	35	
		学部	2024年	定員増	情報理工	I類	264	30	◎
東京	東京大学	修士	2024年	定員増			285	42	
東京	東京工業大学 (※2)	博士	2028年	定員増			55	5	
		修士	2028年	定員増			150	15	
		学部	2024年	定員増	情報理工		132	40	◎
東京	東京農工大学	博士	2027年	改組			15	5	
		修士	2025年	改組			126	30	
東京	一橋大学	博士	2025年	改組			7	7	
		修士	2027年	定員増			36	15	
神奈川	横浜国立大学	修士	2029年	定員増			85	20	
		学部	2025年	定員増	理工	数物・電子情報系 (情報工学教育プログラム)	70	23	



本部所在地	大学	区分	実施年	取り組み (改組=新設、増設を含む)	改組、定員増の学部 (改組=新設、増設を含む) (大学院、高専は割愛)	改組、定員増の学科(専攻、コース等) (改組=新設、増設を含む) (大学院、高専は割愛)	【情報系】 入学定員 (取り組み後)	【情報系】 入学定員 増減 (取り組み前との比較)	女子枠 (実施、 検討、予定)	
国立大学										
富山	富山大学	博士	2024年	改組 定員増			15	10		
			2026年 2030年							
		修士	2024年	定員増			74	40		
			2026年 2028年							
		学部	2024年	改組			理	理(数理情報学プログラム)		35
定員増	工			理(数学プログラム)	25	25				
募集停止	理			工(知能情報工学コース)	105	15	◎			
				数学	-	-45				
石川	金沢大学	博士	2029年	改組 定員増			5	5		
			2030年							
		修士	2027年	改組 定員増	121	58				
			2028年							
学部	2024年	定員増	融合	スマート創成科学	75	35				
	2024年 2030年	定員増	理工	電子情報通信	128	45	◎			
福井	福井大学	修士	2024年 2025年	定員増			283	30		
山梨	山梨大学	博士	2027年	定員増			4	2		
			2025年 2028年							
		修士	2025年	定員増	43	20				
			2028年							
学部	2024年	改組	工(※3)	工(コンピュータ理工学コース)	75	75	◎			
		募集停止	工(※3)	コンピュータ理工	-	-55				
長野	信州大学	修士	2024年	改組			80	30		
静岡	静岡大学	博士	2025年	定員増			16	5		
			2027年							
		修士	2025年	改組			85	25		
三重	三重大学	修士	2027年	定員増			65	35		
			2029年							
		学部	2025年	定員増	工	総合工(情報工学コース)	100	35		
改組	工			総合工(電子情報工学コース)	40	40				
滋賀	滋賀大学	博士	2027年	定員増			8	5		
			2031年							
		修士	2024年	定員増	100	60				
2025年 2029年										
		学部	2025年	定員増	データサイエンス	データサイエンス	155	55		
大阪	大阪大学	修士	2029年	定員増			401	45		
		学部	2025年	定員増		工	電子情報工	190	28	
							応用自然科学	222	5	
							基礎工	電子物理科学	103	4
								システム科学	174	5
情報科学	101	18								

本部所在地	大学	区分	実施年	取り組み (改組＝新設、増設を含む)	改組、定員増の学部 (改組＝新設、増設を含む) (大学院、高専は割愛)	改組、定員増の学科(専攻、コース等) (改組＝新設、増設を含む) (大学院、高専は割愛)	【情報系】 入学定員 (取り組み後)	【情報系】 入学定員 増減 (取り組み前との比較)	女子枠 (実施、 検討、予定)
国立大学									
兵庫	神戸大学	博士	2031年	定員増			21	9	
		修士	2024年 2025年 2029年	定員増			135	55	
		学部	2025年	改組 募集停止	システム情報(※4) 工	システム情報 情報知能工	150 -	150 -107	◎
奈良	奈良女子大学	修士	2027年 2029年	定員増			25	15	-
		学部	2025年	定員増	生活環境	文化情報 (生活情報通信科学コース)	35	20	-
岡山	岡山大学	修士	2028年	定員増			179	40	
		学部	- 2024年	既設 改組	工 工	工(情報・電気・数理データサイエンス系) 工(情報工学先進コース)	190 40	0 40	
広島	広島大学	博士	2029年 2031年	改組 改組、定員増			30	20	
		修士	2025年 2027年 2029年	定員増 改組 改組、定員増			225	189	
		学部	2025年 2027年	改組 定員増	工	第二类(電気電子・システム情報系) 半導体システムプログラム	65	65	
		学部	2025年	定員増	情報科学	情報科学	200	45	
愛媛	愛媛大学	修士	2024年 2028年	定員増			61	32	
		学部	2024年	改組	工	工(デジタル情報人材育成特別プログラム)	30	30	◎
福岡	九州大学	博士	2027年	定員増			34	5	
		修士	2025年	定員増			135	30	
佐賀	佐賀大学	修士	2028年	定員増			45	20	
		学部	2024年	定員増	理工	理工 (データサイエンスコース) 理工 (知能情報システム工学コース) 理工 (情報ネットワーク工学コース)	40 46 36	15 8 7	◎ ◎ ◎
		博士	2024年	改組			19	16	
長崎	長崎大学	修士	2024年	改組			55	31	
		博士	2025年	改組			22	17	
熊本	熊本大学	修士	2025年	改組			120	70	
		学部	2024年	改組	情報融合 工	情報融合 半導体デバイス工学課程	60 40	60 40	◎
		学部	2024年	定員減	工 工 工	情報電気工 機械数理工 材料・応用化学	68 17 -	-15 -2 -3	
		修士	2025年 2028年	改組 定員増			48	20	
		学部	2024年 -	改組 既設	理工 理工	理工 (DX人材育成基盤プログラム) 理工 (知能情報システムプログラム)	40 60	40 0	◎
宮崎	宮崎大学	修士	2024年	改組			60	42	

本部所在地	大学	区分	実施年	取り組み (改組=新設、増設を含む)	改組、定員増の学部 (改組=新設、増設を含む) (大学院、高専は割愛)	改組、定員増の学科(専攻、コース等) (改組=新設、増設を含む) (大学院、高専は割愛)	【情報系】 入学定員 (取り組み後)	【情報系】 入学定員 増減 (取り組み前との比較)	女子枠 (実施、 検討、予定)
公立大学									
神奈川	横浜市立大学	修士	2025年	定員増			47	15	
愛知	名古屋市立大学	博士	2027年	改組			3	3	
		修士	2025年 2027年	改組 定員増			30	30	
大阪	大阪公立大学	修士	2025年 2029年	定員増			120	30	
山口	山陽小野田市立 山口東京理科大学	博士	2026年	改組			5	3	
		修士	2024年	改組			16	15	
私立大学									
東京	工学院大学	修士	2024年	定員増			50	20	
東京	順天堂大学	博士	2025年	改組			6	6	◎
		修士	2025年	改組			20	20	◎
東京	東京都市大学	博士	2024年 2025年	定員増 改組			15	7	
		修士	2024年 2025年	定員増 改組			130	64	
神奈川	北里大学	博士	2026年	改組			5	5	◎
		修士	2024年 2027年	改組 定員増			45	45	◎
		学部	2024年	定員増	未来工	データサイエンス	120	20	
福岡	久留米工業大学	修士	2024年 2025年	定員増			20	15	
大学院大学(国立)									
奈良	奈良先端科学技術 大学院大学	博士	2025年	定員増、改組			50	10	
		修士	2025年	定員増、改組			200	65	
高等専門学校(国立)									
宮城	仙台高等専門学校	-	2025年	改組			30	30	
石川	石川工業 高等専門学校	-	2025年	改組			80	40	
三重	鳥羽商船 高等専門学校	-	2025年	改組			40	40	
徳島	阿南工業 高等専門学校	-	2025年	改組			74	36	
長崎	佐世保工業 高等専門学校	-	2025年	改組			60	60	

(※1)福島大学ー理工学群(共生理工学類) 現在の9コースを4コースに再編。

(※2)東京工業大学 2024年10月、東京医科歯科大学と統合、東京科学大学となる。

(※3)山梨大学ー工学部 入学定員は1年次。(※4)神戸大学ーシステム情報学部 工学部(情報知能工)を改組。最短6年での博士学位取得が可能。

## ■[支援2]初回公募(2023年)選定校 支援枠別の一覧

支援2 一般枠				支援2 特例枠	支援2 ハイレベル枠
国立大学	電気通信大学	山梨大学	長崎大学	私立大学	国立大学
室蘭工業大学	東京大学	信州大学	大分大学	工学院大学	北海道大学
東北大学	東京工業大学	静岡大学	宮崎大学	東京都市大学	筑波大学
秋田大学	東京農工大学	三重大学	公立大学	久留米工業大学	滋賀大学
福島大学	一橋大学	大阪大学	横浜市立大学	大学院大学(国立)	神戸大学
茨城大学	横浜国立大学	奈良女子大学	大阪公立大学	奈良先端科学技術 大学院大学	広島大学
宇都宮大学	富山大学	岡山大学	山陽小野田市立 山口東京理科大学		九州大学
群馬大学	金沢大学	愛媛大学			熊本大学
千葉大学	福井大学	佐賀大学			